

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①知的好奇心を刺激し、表現力を伸長する授業を教員・生徒の相互で作り上げるため、ICT技術を積極的に取り入れ、組織的な授業改善を推進する。</p> <p>②学校行事を精選し、準備や運営についても効率的な計画を立てるとともに、生徒の主体性を活かした運営を行う。</p> <p>③「見通しをたてる」、「現状を把握する」、「自ら課題解決ができる」ことを、プログラミング教育の3つの柱とし、この3つの能力の育成を目指す。</p>	<p>①教育の情報化と情報教育を推進するための機能を強化し、組織的な取り組みに発展させる。</p> <p>②学校行事等を通して豊かな人間性とリーダーシップを育む。</p> <p>③「現状を把握する」ことに、より重点を置き生徒の能力を育成する。</p>	<p>① ICT 機器を、授業や校務運営の場面でも合理的、効果的に活用する。</p> <p>②行事等に ICT 機器を積極的に活用し、授業および他の領域において合理的思考を身につける。</p> <p>③生徒一人ひとりに自身の成長のために何が必要か考えさせる取組を授業に取り入れる。</p>	<p>①情報機器等を効果的に活用した学習活動の充実を図るために、個別最適な学びとして、日常的に活用できるような授業づくりを組織的に実行できたか。</p> <p>②生徒が主体的に情報機器類を活用した学校行事の運営ができたか。</p> <p>③生徒が意欲的に取り組む授業づくりを推進できたか。</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣の定着や規範意識の醸成などの日常生活指導上に関する課題とともに、いじめや問題行動、不登校・薬物乱用など、心や命にかかわる問題に対して適切な対応を行う。</p> <p>②学業との両立に留意し、部活動の適切な運営に努める。</p>	<p>①指導・支援方針の検討や情報交換を定期的におこない、職員の共通理解のもと、生徒・保護者にアプローチするプロセスを確立する。</p> <p>②生徒とのコミュニケーションを十分にとり、生徒のニーズを踏まえた合理的でかつ効率的・効果的な活動をおこない、生徒の成長を促す。</p>	<p>①毎週来校するSC・SSWを含めた教育相談体制を確立させる。</p> <p>①SNS利用に関するモラルの向上をはかる。</p> <p>②部活動指導ガイドラインを準拠し、下校時間の順守、適切な活動時間・休養日等を設定し、生徒の目的や目標に応じた活動の場を設定する。</p>	<p>①月2回程度SC・SSW、教育相談コーディネーター、養護教諭とのミーティングが行えたか。</p> <p>①携帯電話教室や学年集会、LHR、情報の授業等を通じ、SNSに関するモラルの向上の意識づけができたか。</p> <p>②部活動アンケートで「目標や練習の目的を意識して、活動している」「部活動と勉強の両</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<p>①変化の早い社会、進路情報へ適切な対応ができる組織体制の整備をし、生徒が将来を積極的に開拓し、実現につなげる能力を育む。</p> <p>②生徒が自ら「情報収集・選択・提供」を積極的に行い、継続的に「チーム西湘」としての進路意識を高めていく。</p>	<p>①生徒のキャリア形成に資する進路行事・情報共有方法の組織化を図り、生徒・教員の進路開拓意欲を高め、生徒が自ら動き出し、教員がその後押しを積極的にできるようにする。</p> <p>②組織的な出願指導に重要な情報の蓄積・共有方法の整理を行い、適切な情報提供を迅速にできる体制づくりを行う。</p>	<p>①LHR、オンラインを使った講演会、説明会などの開催とスピード感のある情報共有をし、常に最新の情報の分析・発信を行う。</p> <p>②生徒・保護者・教員間での進路情報の様々な共有方法の組織的な確立を図り、相互理解の高い進路指導を行う。</p>	<p>立」「部活動の状況に満足」の結果が半数を超え、かつ、「できていない」の結果が2割以下となったか。</p> <p>①生徒が主体的に進路選択をし、納得できる選択をすることができたか。</p> <p>②情報へのアクセス回数、進路相談の件数を増やすことができたか。</p>				
4	地域等との協働	<p>①非常時に対応できる体制作りを推進し、地域と協働した防災活動に取り組む。</p> <p>②PTAや近隣の学校等との交流・連携事業を行い、地域の教育力を活用する。</p>	<p>①迅速かつ的確に災害応急活動が実施できるように防災教育を行う。また地域住民との協力体制の確立を図る。</p> <p>②PTA活動の活性化を図るとともに地域連携した活動を検討する。</p>	<p>①地域住民・教員・生徒間で災害時の対応を共有し、防災意識を高める。</p> <p>②外部機関と連携して体験談等を聞く機会を設け、生徒の進路選択に役立てる。</p>	<p>①地域住民と合同の避難訓練を実施できたか。</p> <p>①防災マニュアルの見直しができたか。</p> <p>②地域住民や卒業生を講師に招き、講演会や研修を開催できたか。</p>				
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒と向き合う時間を潤沢にするため、教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①業務の精選及び効率化を目指すとともに、会議の設定を必要最小限にとどめる。</p>	<p>①業務の見直しを行い、稟議等の活用により会議を効率的に実施する。</p>	<p>①会議の時間短縮や回数を減じることができたか。</p>				